

各教科等の観点が三つに整理され、様式も評定を各教科の最下段に記入するようになったり、特別の教科 道徳の欄や外国語活動の欄が追加されたりと変わっています。

記入上の全般的な注意事項

- 「指導に関する記録」は卒業後、5年間の保存となる。
- この様式には「各教科の学習の記録」「特別の教科 道徳」「外国語活動の記録」「総合的な学習の時間の記録」「特別活動の記録」が設けられているが、児童の各教科等の学習状況を総合的に把握するためのものであることから、それぞれの欄の特質を十分に考慮して記入する。
- 誤記の場合は、修正液等を使用せず、文字の上に2本線を引いて消し、訂正箇所には訂正者の認印を押す(原則として学級担任の印)。
- 総合的な学習の時間及び特別活動の「観点」は、変更のある場合が考えられるので、記入箇所については、上部に書き、下部は空けておく。

記入の時期

- ・入学時…………○印
- ・学年当初……●印
- ・学年末…………△印

- 様式1の児童氏名、学校名と同様に記入する。ゴム印も可能。
- 様式1の学級、整理番号と同様に記入する。

※観点別学習状況

△小学校学習指導要領に示されている各教科の目標に照らして、その実現状況を観点ごとに評価し、A、B、Cの記号により、次の評価基準で記入する。

- A「十分満足できると判断されるもの」
- B「おおむね満足できると判断されるもの」
- C「努力を要すると判断されるもの」

△児童の各教科の学習状況を総合的に把握して記入する。学年末に記入するが、転学、退学の場合は、その都度必要な事項を記入する。

※評定の記入

△この欄には、第3学年以上の各教科の学習状況について、小学校学習指導要領に示されている各教科の目標に照らして、その実現状況を総合的に評価し、3、2、1の数字により、次の評価基準で記入する。

- 3「十分満足できると判断されるもの」
- 2「おおむね満足できると判断されるもの」
- 1「努力を要すると判断されるもの」

△各教科の評定を行う際には、評価の3観点を踏まえ、児童の日頃の学習状況を考慮し、年間を通じた学習の成果を総合的に判断して決定すること。

△観点別学習状況の評価をどのように評定に総括するかといった具体的な方法等については、各学校で工夫することになっている。その際、総括に当たっては、各教科で説明がつくようにすることが大切である。

△評定に当たっては、目標に準拠した絶対評価であることを踏まえ、段階ごとにあらかじめ一定の比率を定めて、機械的に割り振ることのないよう配慮する必要がある。

様式2(指導に関する記録)

児童氏名	学校名	区分	学年	1	2	3	4	5	6
松山太郎	埼玉県〇〇市立〇〇小学校	学級	2	1	2	1	1	2	
		整理番号	21	20	19	20	18	19	

各教科の学習の記録		特別の教科 道徳	
教科	観点	学年	学習状況及び道徳性に係る成長の様子
国語	知識・技能	B B B B B A	1 思ったことを実際に行動に移すことの難しさを自分の体験と重ねて考え、素直な言葉で発表することを通して、それを克服しようとする意欲へつなげた。
	思考・判断・表現	A B B B B B	
	主体的に学習に取り組む態度	B A A A A A	
社会	知識・技能		2 目標に向かって努力した主人公が目標を成し遂げた充実感と大きな喜びを感じている様子から、その理由を友達と考えていた。自分も主人公のような思いをもちたいと感じていた。
	思考・判断・表現		
	主体的に学習に取り組む態度		
算数	知識・技能	B B A A B A	3 「親切な行為」について友達と話し合うなかで、親切な行為とは相手の状況やその時の気持ちによって様々なちがいがあろうということに気づき、自分の友達への接し方を振り返っていた。
	思考・判断・表現	A B B B B A	
	主体的に学習に取り組む態度	B A A A A A	
理科	知識・技能		4 感謝をテーマとした学習では、周囲の人々の支えに気付いた主人公の心情や、主人公を支えている人たちの思いについて理解しようとする様子が見られた。
	思考・判断・表現		
	主体的に学習に取り組む態度		
生活	知識・技能	B B	5 家族が何かをしてくれることは当然ではなく、自分に対する思いや願いが込められていることに気づき、家族の幸せのために自分ができることを考え、道徳ノートに記述していた。
	思考・判断・表現	B B	
	主体的に学習に取り組む態度	A A	
音楽	知識・技能	A A B B B B	6 あきらめず何度でも挑戦する主人公と自分自身を重ね合わせて考えたり、友達と話し合ったりするなかで、無心で挑戦することは自分の可能性を広げていくことであることに気付いていた。
	思考・判断・表現	A A B B B B	
	主体的に学習に取り組む態度	A A A A B A	
図画工作	知識・技能	B B A A A A	外国語活動の記録
	思考・判断・表現	B A A A B A	
	主体的に学習に取り組む態度	A A A A A A	
家庭	知識・技能		学年 知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度
	思考・判断・表現		
	主体的に学習に取り組む態度		
体育	知識・技能	A A B B B B	3 身の回りの物や自分のこと、日常生活に関する簡単なあいさつ等について、自分の考えや気持ちを笑顔で話すことに慣れ、楽しんで英語の学習に取り組んでいた。
	思考・判断・表現	A A B B B B	
	主体的に学習に取り組む態度	B A A A B A	
外国語	知識・技能		4 「町内にある世界」を発見しよう(国際理解) ○商店街の魅力を発信しよう(地域)
	思考・判断・表現		
	主体的に学習に取り組む態度		
外国語	知識・技能		5 「SNS被害」を防ごう(情報) ○「感染症対策」に取り組もう(福祉・健康)
	思考・判断・表現		
	主体的に学習に取り組む態度		
外国語	知識・技能		6 「リサイクル活動」を広めよう(環境) ○「卒業論文発表会」をしよう(興味・関心)
	思考・判断・表現		
	主体的に学習に取り組む態度		
総合的な学習の時間の記録		特別活動の記録	
学年 学習活動		内容	
学年 観点		学年	
学年 評価		学年	
3		○外国はどんなところ? (国際理解) ○「〇〇小校区探検隊」(地域・学校)	
4		○「町内にある世界」を発見しよう(国際理解) ○商店街の魅力を発信しよう(地域)	
5		○「SNS被害」を防ごう(情報) ○「感染症対策」に取り組もう(福祉・健康)	
6		○「リサイクル活動」を広めよう(環境) ○「卒業論文発表会」をしよう(興味・関心)	
3		●よりよい生活を築くための知識・技能 ○集団や社会の形成者としての思考・判断・表現 ○主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度	
4		○よりよい生活を築くための知識・技能 ○集団や社会の形成者としての思考・判断・表現 ○主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度	
5		○よりよい生活を築くための知識・技能 ○集団や社会の形成者としての思考・判断・表現 ○主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度	
6		○よりよい生活を築くための知識・技能 ○集団や社会の形成者としての思考・判断・表現 ○主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度	

△特別の教科 道徳の評価は、学習活動における児童の学習状況や道徳性に係る成長の様子を「個人評価」として文章で端的に記入する。

△3年生、4年生で評価する外国語活動の記録は、評価の観点に照らして児童の学習状況に顕著な事項がある場合にその特徴を記入する等、児童にどのような力が身に付いたかを文章で端的に記入する。

●総合的な学習の時間は、学校により観点を変更することも可能であることから、指導と評価について校内で十分に検討し、確認しておくことが大切である。

△3年生以上の学年で評価する総合的な学習の時間の記録は、この時間に行った「学習活動」及び各学校が定めた評価の「観点」を記入した上で、それらの観点のうち、児童の学習状況に顕著な事項がある場合などにその特徴を文章で端的に記入する。

●特別活動の記録については、各学校が定めた評価の観点を記入する。

△各活動・学校行事ごとに評価の観点に照らして、「十分満足できる状況」にあると判断される場合には、欄内に○印を記入する。

△クラブ活動は、実施しなかった学年の欄には斜線を引く。本事例では、4年生からクラブ活動が始まる学校のものを取り上げている。